

## 脱炭素社会のために森林吸収系クレジットを取得



岐阜県森林公社と木曾三川水源造成公社では、平成24年度から経営改善の取り組みの一つとして、J-クレジット（旧J-VER）制度に取り組んでいます。

J-クレジット制度とは、環境省などが管理する国の制度です。両公社では、間伐による森林整備によって管理された森林が吸収するCO<sub>2</sub>をクレジットとして販売しています。

企業などは、二酸化炭素などの排出量削減目標に達しなかった排出量について、公社のクレジットを取得して埋め合わせ（カーボン・オフセット）したり、森林保全活動を応援したりすることができます。

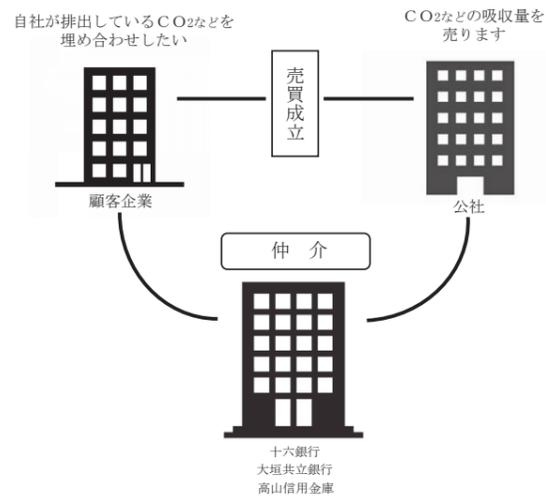
昨今は、SDGsや2050年カーボンニュートラ

ルなど地球温暖化対策への企業などの関心の高まりを受け、両公社では金融機関とビジネスマッチング契約を締結。環境保護に意欲的な顧客企業の紹介を受けて、公社のクレジットを購入いただいています。

これにより、地球温暖化の原因となっている温室効果ガスの排出量を削減するための取り組みを地域に広げるとともに公社分収造林地の保全につなげています。【森林公社総務課 坂本】



▲金融機関の紹介で公社クレジットを購入いただいた3社に感謝状を贈りました



### 白山白川郷ホワイトロード

Hakusan Shirakawa-go White Road

白山林道岐阜管理事務所  
☎05769-6-1664

ホワイトロード 検索 🔍

白川郷展望台に60人がゆったりできるウッドデッキが完成 連なる山々が気持ちいい！遊びに来てください。

### ※契約者のみなさまへのお願い

- 相続などにより契約の名義人が変更になった場合。
- 住所や連絡先などに変更があった場合。
- 契約代表者を変更した場合。

これらの変更があった場合は、当公社へご連絡ください。  
ご連絡がない場合、公社からの大切な文書をお届けすることができません。  
また、事業推進に支障が生じる場合があります。みなさまのご協力をお願いいたします。

# 森の息吹

第12号

令和4年10月発行



公益社団法人木曾三川水源造成公社

【URL】 <http://www.kiso3sen.org/>

〒501-3756 岐阜県美濃市生櫛1612-2

☎0575-33-4011 (内線410)

✉desk@kiso3sen.org

岐阜県中濃総合庁舎内

FAX 0575-46-8409

## 『令和3年度事業の報告』

令和3年度は、国や県からの補助金を活用して利用間伐に必要となる9,352mの作業道開設と、225haの利用間伐を実施し、間伐材を販売しました。さらに、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用して森林の持つ多面的機能の維持増進のため、分収造林地で68haの保育間伐を実施しました。

間伐材の販売材積は6,712m<sup>3</sup>で、前年度の6,673m<sup>3</sup>とほぼ同じでしたが、販売額は前年度の6,044万円を上回る7,510万円となりました。

さらに、公社造林地においてCO<sub>2</sub>吸収量の認証を受けた「オフセット・クレジット」の販売にも取り組み、12,186 t-CO<sub>2</sub>のクレジットを販売しました。

また、公社事業の公益性と水源林整備の重要性

を普及・啓発するために主催する『水源林見学会』や、公社が出展を予定していた各種イベントは新型コロナウイルス感染症拡大の影響ですべて中止となりましたが、名古屋市上下水道局主催の『なごや水フェスタ』にはWEB参加することができました。

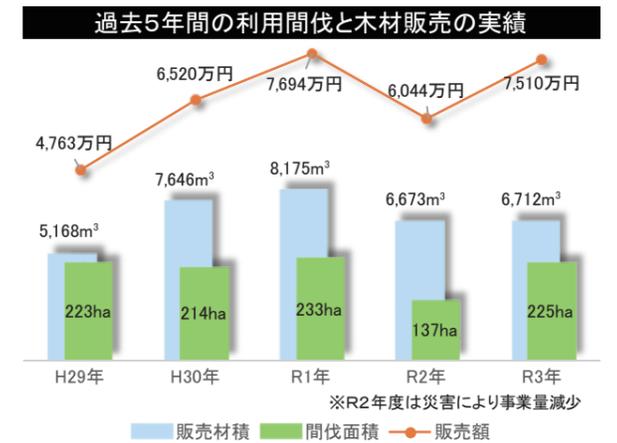
木材価格は、“ウッドショック”の影響により上昇しましたが、この状況がいつまで続くかは不透明であり、公社では厳しい経営状況が続いています。

今後も経営改善に取り組みながら大切な森林の整備に努めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【三川公社業務課 早矢仕】



▲林業機械による造材作業（下呂市）



(参考) 岐阜県森林組合連合会共販所別平均材価 (単位:円)

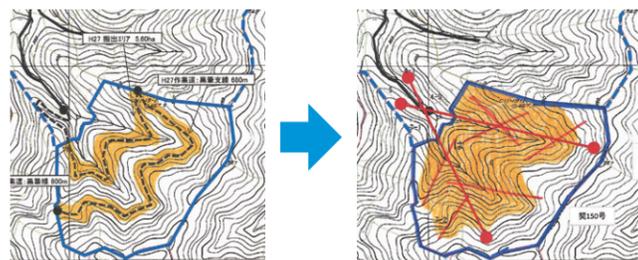
地区	規格			年度平均材価 (4月～3月)		
	樹種	長さ	径	R1	R2 (前年比)	R3 (前年比)
岐阜	スギ	4m	24～28cm	12,950	11,392 (-12%)	16,050 (+41%)
	ヒノキ	3m	16～18cm	17,417	15,508 (-11%)	27,600 (+78%)
飛騨	スギ	4m	24～28cm	11,450	10,617 (-7%)	14,408 (+36%)
	ヒノキ	3m	16～18cm	17,233	15,300 (-11%)	27,417 (+79%)
東濃	スギ	4m	24～28cm	12,883	11,300 (-12%)	15,292 (+35%)
	ヒノキ	3m	16～22cm	17,600	16,133 (-8%)	27,008 (+67%)

※R2年はコロナ禍の影響で価格下落  
※R3年はウッドショックの影響で価格上昇  
※事業実績の詳細内容は、ホームページの『公社概要』のページ右にある『業務・財務に関する資料』をご覧ください。

## 架線による木材生産の取り組み

「あの山で切捨て間伐をやるのはモッタイナイ」そう思いながら10年以上眺めるだけだった山から、令和3年度、木材を搬出する間伐ができました。何度歩いていても有効な作業道を計画できなかった奥山で、ヒノキ林の地表に光が差し、明るくなった林内と丁寧に丸太が集められた様子に感動を覚えました。「こんな技術があるのか…林内に丸太が残っていない」

会社の山は奥地に位置し、急峻な山も多く、作業道や高性能林業機械による利用間伐に適さない山が少なくありません。そのような山で取り組んだのが、従来型集材架線と簡易架線を組み合わせた2段の架線集材です。



▲2段式の架線集材によって広がった集材範囲(黄色のエリア)



▲簡易架線と集材架線が交差する地点の様子(自走式搬器で集めた丸太を集材架線に移し替え、土場へ降ろす)

ロープウェーのようなものを山に架け木材を運び出す間伐です。生産性の優れた林業機械による木材生産が当たり前の現在にあって、異例の取り組み。

生産性が低く、実施できる技術者も数少ないなど、課題は多いのですが、今後の奥山での事業展開のため、生産性向上のために改善できる点を見つけながら継続していきます。皆様のご支援をよろしく願っています。

【森林公社森林整備課 塩田】

## 【コラム】ゼロから始める林業の世界

私は2年前に郵便局の配達員から木曾三川水源造成社の森林整備専門員として転職してきました。林業に関する知識は全くのゼロ。当初は山岳地図を現地で読んでも、自分が今地図上の何処にいるのかさえ分からない、正に「右も左も分からない」状態でした。

そんな私が働き続けていられるのは、当然先輩方の丁寧な指導もありながらも「スマート林業」と呼ばれる高性能なデジタル機器による森林事業サポートのおかげだと思っています。

スマートフォンに搭載されているGPSを利用した山岳地図アプリを使えば、今自分がどの方向を向いていて、どちらへ進めば目的地に行けるのか一目でわかります。

「OWL」(森林3次元計測システム)を使えば一定範囲内の立木の樹高や胸高直径が、まとめて測量でき、森林の状態を一目で把握できるようになります。

さらには小型航空機からレーザーを飛ばすことで、直接森林の中に入っていなくても数百haの



▲OWLで取得したデータを解析して視覚的に再現した様子

森林をまとめて測量…なんてこともできるようになりました。

それ以外にも、今まで林業とは関係なかった企業が新たに参入し、新しい機器やアプリなどが続々と開発され、予想もしなかった「スマート林業」の世界がどんどん広がっています。

山に新しい樹を植え、森林の若返りを図るように、人や企業も新しい風を吹かせることで林業の世界はますます活気づいていくと良いと思います。

【三川公社業務課 北村】

## 「ぎふ林業体感・見学ツアー」の実施

「森のジョブステーションぎふ」では、林業への就業を希望する方に対して、林業の現場を見て体感していただく取り組みとして、これまでバスツアーによる「ぎふ林業体感・見学セミナー」を開催してきました。しかし、見学先が限定されることや、年1回の開催など、見学希望者のニーズに応えられていない課題がありました。

そこで令和3年度から、見学希望者がいつでも・求人先などの林業事業体でも見学できるツアーとして開催方法を見直しました。これにより、参加者が前年度の3倍以上に増えるとともに、希望する林業事業体の現場状況を見て体感していただくことで、就業につなげることができました。

今年度もこの取り組みを継続し、求職者と求人者とのマッチングの機会を増やすことにより林業就業促進につなげていきたいと考えています。

「森のジョブステーションぎふ」では、今後も両者のニーズに応えるよう、取り組みを進めてまいりますので、引き続きご理解ご協力をお願いいたします。

【森林公社担い手対策課 和田】



▲森林技術者との意見交換(中津川市)



▲林業架線集材現場の見学(恵那市)

※「森のジョブステーションぎふ」の取り組みは、公式サイトやSNSをご覧ください！



森ジョブHPへ

## 分収造林契約の変更のお願い

三川公社では、契約地の安定経営を継続していくために、平成27年から分収造林契約者様へ契約の変更をお願いしております。今までに全体の約9割の方のご理解をいただき、変更契約の締結ができました。大変ありがとうございました。

また、これまでに変更契約をされていないご契約者様方につきましては、順次、説明などをさせていただきますので、変更契約へのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

<契約期間の延長について>

施業方針を長伐期施業へと転換して分収造林契約期間を100年へ延長することにより、中間収入が得られる利用間伐事業などを繰り返し行って広葉樹林化を促します。最終的には再造林事業を必要としない天然林の森林にしてお返しすることも可能になります。

<分収割合の変更について>

土地所有者様との分収割合を18% (2者契約の

場合は20%)に変更することにより、契約地の安定経営に必要な管理費を補うこととなりますのでご理解をお願いします。

<契約延長に伴う地上権登記の変更について>

契約期間の変更(延長)契約済で登記上の地上権の存続期間が未変更である箇所については、順次、延長登記を進めていきます。

登記手続きのための必要書類の作成について連絡をさせていただいた場合は、ご協力をお願いします。

【三川公社契約対策課 下村】

区分		全契約数	R3年度末
変更契約件数	契約期間延長	1, 6 6 6	1, 5 2 4
	分収割合変更	1, 6 6 6	1, 4 8 1
進捗率(%)	契約期間延長	—	9 1. 5
	分収割合変更	—	8 8. 9